

AGR NEWS

Vol. **44**



2022 菅平合宿



誇り高く明日へ。

“With Pride, Beyond Yourself”

高等部ラグビー部



テーマは文武両道。勇気や感動を与えられるクラブを目指して。

高等部監督 依田 賢人氏

いつもたくさんのサポートをいただき、誠にありがとうございます。

2022年度のシーズンは、中川圭陽キャプテンを中心に選手30名、マネジャー5名、計35名の体制でチームを運営してまいりました。東京都春季大会で3回戦進出(ベスト16)、秋季大会は初戦敗退(対保善高校)という結果となりましたが、2年ぶりの菅平合宿の開催、四校戦の再開など、まだまだ制限があるなか、ラグビーができることに感謝をして、明るく前向きに取り組んでまいりました。

2023年度のシーズンは、館慶次郎キャプテンを中心に選手17名、マネジャー3名、計20名でスタートしております。文武両道をテーマに掲げ、月・木・土の週3回の全体練習と限られた時間の中で、最大限の工夫と集中でシード校に勝つことを目標に活動しております。チームを支えてくださるすべての方に感謝し、高等部ラグビーに触れたすべての方へ勇気や感動を与えられるクラブを目指していきたいと思ひます。引き続き、ご声援、ご支援を何卒よろしくお願い致します。

2022年シーズン戦績

■2022(R4)年度 東京都高校春季大会

- ▶ 1回戦 青山学院 45 - 7 帝京高校
- ▶ 2回戦 青山学院 24 - 3 東海大付属高輪台
- ▶ 3回戦 青山学院 7 - 52 國學院大學久我山高校

■2022年 春四校戦

- ▶ 5 / 9(月) 青山学院 28 - 40 成蹊高等学校
- ▶ 6/26(日) 青山学院 29 - 33 早稲田大学高等学院

■2022(R4)年度 全国7人制東京都2次予選

- ▶ 6/12(日) 青山学院 5 - 52 國學院大學久我山高校
- ▶ 青山学院 19 - 31 都立東高校

■全国高校ラグビーフットボール大会2022(R4)年度 東京都大会

- ▶ 9/19(月) 青山学院 5 - 38 保善

■2022(R4)年度 高校新人大会

- ▶ 1回戦 不戦勝(都立日比谷高校) (開成・駒場東邦・)
- ▶ 2回戦 青山学院 39 - 0 合同 (東工大付属・日体荏原)
- ▶ 3回戦 不戦敗(早稲田実業高等学校)



春四校戦 vs成蹊



東京都大会 vs保善



東京都大会 vs保善



高校新人大会2回戦 vs合同

中等部ラグビー部



「中等部生」としての成長と、ラグビー力の強化。

中等部監督 綿井 浩介氏

22年度は合同チーム(農大一中・三田国際中・目黒学院中)での戦いとなりました。コロナ禍の影響や合同チームとしての制約もあり、春季大会、秋季大会ともに力を出し切ることが出来ず、残念ながら決勝トーナメント進出は叶いませんでした。

23年度も青山中との合同チームとなります。既に新人戦が始まり、新チームでの活動がスタートしています。合同チームは、練習の連携など難しい面があるものの、他校の選手から刺激を受け、得るものが沢山あります。子供たちの活動の場を失わない為にも、現状は必要なことと思っております。

中等部ラグビー部は、こういう状況を経て、進化の途上にあると感じています。竹内先生を始めコーチングスタッフは、「中等部生」としての成長と同時に、ラグビー力の強化を図り、勝利という結果に繋げていきたいと考えています。子供たちの意思、部の雰囲気など、少しずつ変化が起きている中等部ラグビー部です。引き続き、応援をどうぞよろしくお願い致します。

2022年シーズン戦績

■2022(R4)年度

東京都高等学校ラグビー春季大会予選リーグ

- ▶ 4/10(月) 中等部 合同 22 - 26 合同(麻布・開成・駒東)
- ▶ 4/17(日) 中等部 合同 0 - 57 慶應中等部
- ▶ 4/24(日) 中等部 合同 7 - 73 成城学園
(中等部 合同：青山学院・農大・三田国際・目黒学院)

■2022(R4)年度 東京都秋季ラグビーフットボール大会

- ▶ 9/11(日) 中等部 合同 7 - 50 久留米
- ▶ 9/25(日) 中等部 合同 7 - 31 玉川学園
- ▶ 10/2(日) 中等部 合同 0 - 61 王子桜
(中等部合同：青山学院、農大、三田国際中、目黒学院中)

■2022(R4)年度 東京都中学校ラグビー新人戦Cブロック

- ▶ 2023年 1/15(日) 中等部 合同 5 - 91 本郷中学校
- ▶ 2023年 1/22(日) 中等部 合同 12 - 75 成蹊中学校
- ▶ 2023年 1/29(日) 中等部 合同 24 - 38 王子桜中学校
(中等部 合同：青山学院・青山中学校)



リコーブラックラムズ東京メンバーより指導



青学大OB・現在リコーコーチ岡崎氏との練習風景



東京都秋季大会 vs久留米



東京都秋季大会 vs王子桜

3年ぶりとなる合宿を実施！ 成功で終わることができました

花園へのランウェイともいえる菅平合宿の再開は、高等部ラグビー部の未来を明るく見晴らす起点になることでしょう。



毎年定期戦を行っている vs西陵高



毎年定期戦を行っている vs西陵高



強化練習風景



菅平合宿にはOB・OGも参加。

OGで現大学マネージャーのお二人も参加。コロナ禍でもオール青山の「絆」は健在です。



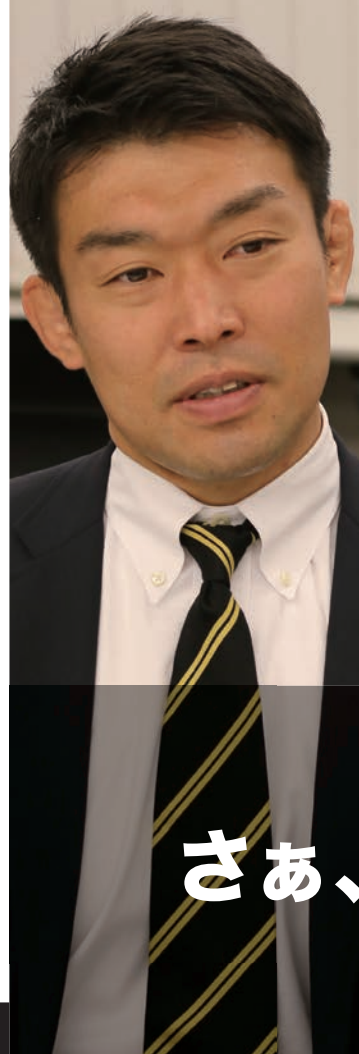
復活への道。

このままで
「高等部・いいのか、青学ラグビー部！
中等部両監督が考えるオール青山の重要性」

永い眠りの中にいる青学高・中ラグビー部。

部員とともに花園・関東大会に挑む監督たちの胸中には

「強い青学」復活への想いと道筋が描かれている。



高等部監督 (51期)

依田 賢人氏

初等部コアラーズでラグビーを始め、大学までラグビー部に所属。中、高、大学ではナンバー8でキャプテンを務めた。高等部では全国高校ラグビー選手権東京都大会決勝に進出。株式会社東芝に入社し、東芝ブレイブルーパスでもナンバー8として活躍。モダンラグビーを身につけ、2021年より高等部監督に就任。チームの強化を進めている。



中等部監督 (大学1989年卒)

綿井 浩介氏

國學院久我山高校から青山学院大学へ進学。ラグビー部所属。高校時代はスクラムハーフとしてオール東京に選ばれ、国体で優勝。全国高校ラグビー選手権「花園」にて優勝を果たす。大学卒業後、大学でのコーチを経て2013年から中等部コーチ。2022年より中等部監督就任。父親は日本ラグビー全盛期の名監督である故綿井永寿氏。



OB会副会長 (33期)

鈴木 成明氏

初等部コアラーズから、中、高、大学までラグビー部に所属。高校ではスタンド・オフとして全国高校ラグビー選手権東京都大会決勝に進出。大学では慶応大学を凌駕するなど、すべての代でキャプテンを務めた。2021年から高中部ラグビー部OB会副会長に就任。創部100年を視野に入れ中長期的な視点で「強い青学」再建の道を描いている。



オール青山委員長 (35期)

杉山 公信氏

初等部コアラーズでラグビーを始め、大学までラグビー部に所属し、センターとして活躍。各世代へ精通しており、オール青山委員長として、青学ラグビーの伝統の継承を図りつつ、強化に尽力している。現在は杉山スキー&スノースポーツスクール校長及び公益社団法人日本プロスキー教師会長、国際スキー教師連盟副会長を務めている。

AGR
NEWS
HEADLINE花園をめざす前にベスト4になろう。
実はチャンスがそこにあるからだ。

中等部は合同チームに変化している。そのなかで気づきもあれば成長もあるができれば単独チームで関東大会へ。

心が成長すれば、
ラグビーも成長する。
学校も保護者も大喜びのはず。
青学ラグビーは
そんなクラブマンを育てたい。



ラグビーに対する心構えを
教えること。それが伝わり
理解されるようになって
高等部のラグビー部は
サークル活動から脱皮した。

コーチングスタッフにせめて交通費を支払いたい。それが青学を強くするための第一歩だ。

大儀・目標・目的のもとに高等部を代表する
クラブになること。めざすゴールがそこにある。

高・中ともにまずは
部員数を増やしたい。
そのためには
「オール青山」の
取組みが不可欠。



対談記事(全3回)はこちらでお読みいただけます。

<https://agr-h-j.jp/story>

Vol.01 監督の目、部員の想い。

Vol.02 強くなれない、もどかしさ。

Vol.03 オール青山に期待すること。



会長挨拶

いまこそオール青山で
団結の時。

会長 小村 峰之【旧姓 郷内】

まず初めに生徒たちの部活動に対して、日頃から献身的にご尽力いただいているOB・OGの皆様に、心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

さて、2020年から世間を騒がした感染症が落ち着き始めて、部活動に対する指針が変わろうとしています。思うような活動ができず、成果を残すことができなかった3年間ですが、この春からは勉学にも練習にも、励めるのではないかと考える次第です。私たちOB会もこの好機を逃さず、いままで以上の支援に努めたいと考えています。

そのひとつが「オール青山」のポテンシャルを発揮することです。初等部から大学までラグビー部があるのは、日本でも数少ない伝統校の特権です。コアラーズでラグビーを始めた初等部生が、中等部・高等部を経て、大学でもラグビーに勤しむことができる。これはすばらしいことであり、恵まれた環境でもあるのです。

この特権の元に知性・教養・社会性を育み、思いやりに溢れた「人間力」の形成に励むことが、青学ラグビーの伝統であり、継承につながる唯一の道です。そこでOB会は、初等部・中等部・高等部・大学の垣根を外し、お互いが協力し合える環境づくりとスムーズなボトムアップのための魅力づくりに尽力したいと考えています。

大学のプレ100周年の一環として3月26日(日)に予定されている慶應義塾高等学校との試合や6月17日(土)のOB・OG総会をステップとして、皆様と顔を合わせながら、現役部員や新任の両監督・コーチが抱えている諸問題解決の糸口を見つけたいと願っています。

まもなく訪れる創部100年に向けて、青山ファミリーのポテンシャルを発揮しましょう。OB・OGの皆様、ご支援とご協力のほど、重ねてよろしくお願い致します。

みんなで応援に行こう

青山学院大学ラグビー部 プレ100周年記念試合
＜オール青山vsオール慶応＞

日 時:2023年3月26日(日)
場 所:相模原麻溝公園 競技場
(神奈川県相模原市南区下溝4169)

①青山学院高等部 vs 慶應義塾高等学校

- ▶11:00キックオフ予定
- ▶グラウンド:相模原ギオンフィールド

②青山学院大学 vs 慶應義塾大学

- ▶14:00キックオフ予定
- ▶グラウンド:相模原ギオンスタジアム

久しぶりの有観客試合です。お誘いあわせてご観戦ください。
当日のグラウンド設営などのボランティアも募集しております。
本件に関するお問い合わせはOB会公式サイト:<https://agr-h-j.jp>
よりお問合せください。

2023 キックオフ サローネ

青山学院高中部ラグビー部OB会 総会
併催 鈴木正一先生、森岡章吉元監督を偲ぶ会

日 時:6月17日(土) 13時～15時30分
会 場:アイビーホール青学会館3階 シノノメの間
(東京都渋谷区渋谷4-4-25)
電話番号:03-3409-8187
会 費:50期まで:10,000円、51期以降:5,000円
(当日お持ちください)

ここ数年コロナなどの影響もありOB・OG会の集まりを開催できませんでした。しかし、今年こそはと思い23年6月17日に念願のOB・OG会を開催致します。

今回はOB会総会の定期報告もありますが、お世話になった元高等部ラグビー部顧問の鈴木正一先生と、中等部ラグビー部監督を長年担って頂いた森岡章吉元監督を偲ぶ会も併催致します。お世話になったお二人への感謝をお伝えたいと思っています。また、歴代の監督(高等部監督、中等部監督)や現監督(高等部監督 依田氏、中等部監督 綿井氏)もお招きして、元監督への感謝や、活躍を期待される現監督へのエールを贈りたいと思っています。
お忙しいとは思いますが、皆様のご参加を心からお待ちしております。

世代を越えたOB同士の交流で、
現役のサポートに繋げよう

交流委員会 委員長 平野 剛志(33期)

コロナ禍の影響もあり、イベントを企画するのが困難な状況ではありましたが、2022年度は高等部の夏合宿を3年振りに実施しました。合宿再開を機に「VICTORY MEET, SUGADARA AGAIN」と銘打ち、久しぶりに各年代のOB・OGと再会することができました。

杉山ALL青山委員長のご支援の基、有志のみとはなりましたが前夜にBBQ企画を実施。高等部ラグビー部のOGであり、大学の現マネージャーのお二人にも参加いただき、高中部OB会との連携もより深い段階へ進むことができました。

ここ数年実施する事が叶わなかったOB会総会や故人を偲ぶ会など、皆さまの集まる機会を進めております。奮ってご参加いただくと幸いです。

OB・OG同士の交流を図り、世代を超えた結束をより強固にしたいと思っています。

今後ともよろしく願いいたします。

ALL青山ラグビーの
潤滑油を目指して

ALL青山委員会 副委員長 沖永 リサ(42期)

青山学院ラグビー部には世代の垣根を越えた“ALL青山”の想いが存在します。これは日本でも数少ない伝統校ならではの一貫したシステムです。この想いが過去の青山学院の象徴であり、強さの秘密でもあったのです。

この数年コロナ渦となり、その想いが活かせないまま月日が過ぎてしまいました。

そんな状況から1歩でも前進しようと、昨年11月、初等部と高等部の合同練習を実施致しました。

年齢や体格やスキルは違いますが、ラグビーを通しコミュニケーションをはかり、それぞれ与えられた賜物を互いのために発揮することができました。

23年度も初中高大ラグビー部が互いに成長し刺激し合い、さらなる前進ができますよう、ALL青山委員会はそのサポートに努めてまいります。

引き続き、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

お待ちしております、皆様のご支援

総務委員会 委員長 総田 茂昭(32期)

日頃より現役支援、並びにOB運営へのご理解とご援助に心より感謝申し上げます。2022年度は3年ぶりに夏合宿が開催されました。まだまだコロナ禍で行動制限のある中、限定的ですが、久しぶりにOB・OGの諸氏と顔を合わせる機会に恵まれました。

ここ3年の寄付状況は、右記の通りです。コロナによって寄付が激減してしまい、少しずつ回復基調ではあるものの、現役部員への支援に十分な金額とは言えず、今期の目標寄付金額は150万円、約50万円の不足です。現在までの寄付者60名です。もちろん、OB会役員の活動経費はすべてボランティアで賄っていますが、4月からの支出は約125万円です。現役支援並びに監督・コーチに最低限の支援をした結果、残念ながら厳しい単年度年間収支となっております。

中等部・高等部時代の私たちは、様々な形でOB会によるサポートを受けてきました。中等部が強くなり、高等部が花園へ!その夢を叶えるための支援がOBOG共通の責務であり、恩返しではないかと思う次第です。皆様の思いはOB会がしっかりと受け止めます。ですので現役への充実したサポートを実現させてください。練習用具の充実、映像アプリの導入や補食費の援助、高中コーチの通常練習時の交通費援助等が可能となれば、現役部員の励みになり、私たちが果たせなかった夢を実現してくれるものと信じています。

今後も投資対効果を検証しながら強化に向けサポートを実施してまいります。是非今回のAGR Newsを通じて、OB会の財政面

の窮状についてもご理解頂き、下記「銀行口座」ないしは「インターネットによる寄付のお申し込み」からご寄付を何卒宜しくお願い申し上げます。

■2020年度.....寄付総額:202,747円
■2021年度.....寄付総額:622,633円
■2022年度(11月末迄).....寄付総額:952,000円

今年のOBOG会の事業活動(経費)としては、

・オフ・ザ・グラウンドコーチ.....¥120,000(上期)
¥180,000(下期)
・AGRホームページ.....¥275,000
・夏合宿.....¥103,200
・試合球贈呈.....¥88,825
など

菅平合宿のために作成した限定Tシャツは、父母会やOBOG諸氏にご購入頂き、¥93,160の利益を寄付にまわすことができました。



2022菅平合宿限定Tシャツ
お陰様で完売となりました!



ポロシャツは
ご好評につき
増産予定!

会計報告詳しくは https://agr-h-j.jp/accounting_report

寄付はこちらから▼



●寄付について【口座振込・オンライン寄付(クレジットカード決済)】

- ◎ みずほ銀行 銀座中央支店(店番号:125) 普通 1292627 青山学院高中部ラグビー部OB会
- ◎ オンライン寄付サイト:<https://k9.kifu.fm/form.php?to=37>

活動報告

■2030年の創部100年に向けて
現役支援を積極的に展開しています。

OB会では、練習用具の寄付を始め、オール青山としてのつながりを深めていくために様々な取組みを積極的に展開しています。今回のトピックスは初等部と高等部が合同で練習に励む「ラグビークリニック」の話題です。

アイスブレイクを兼ねたアップに始まり、3・4年生と5・6年生では別々の練習メニューで、ラグビーの基本的なルールを学びながら、仲間を感じられるように配慮された内容でした。高等部が中心となって練習メニューを作り、初等部コアラーズの部員が元気に走り回れるように、雰囲気盛り上げていたのが印象的でした。雨にも降られましたが紅白戦や高等部初等部ミックスのタッチフットも行われて、活気に溢れた一日となりました。

これからも初・中・高・大のオール青山の連携を強化するとともに、青学らしい取組みにOB会は全力で支援したいと考えています。

引き続き、皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。



安心・安全の願いを込めてコアラーズのみんなへマスクの寄贈



試合用公式球の寄付もOB会の役割



アドバイスも和やかなラグビークリニック



みんなで楽しくつながろう！

青山学院高中部ラグビー部OB会



LINE公式アカウント 開設のお知らせ

青山学院高中部ラグビー部OB会の公式アカウントを開設いたしました。

試合結果などの最新情報をお知らせするほか、過去の試合映像や懐かしい写真をご覧いただけます。また、交流委員会からの懇親会企画など、コロナが落ち着きましたらご案内させていただきます。

現役へのご支援もこちらのLINE公式アカウントをご利用いただけますので、よろしくお願いいたします。

OB・OG、現役の学生、保護者や関係者の皆様へ、いい情報を発信いたしますので、是非、ご登録ください！

<https://page.line.me/?accountId=937keaoa>



高中部グラウンド(人工芝)

編集後記

前号となる43号(特別号)では、発行後にたくさんのお声をお寄せいただき、誠にありがとうございました。OB・OGの皆様の「青学ラグビーに対する想い」に加えて、私たちOB会委員への叱咤激励もいただくことができ、身が引き締まる想いでした。そこで、OB会の運営、また、今号44号の制作においても、皆様からいただいた声を受け止め、現役の様子が少しでも伝わるように、いただいた寄付金を無駄にしないように運営・制作をしております。

(このAGR NEWSは、紙代・印刷費29,910円と、費用を抑えて作成しております)。

私たちの想いを乗せたAGR NEWS44号をお楽しみいただければ幸いです。

AGR NEWS